

音とリズムとパフォーマンスの融合を目指して
全12組、かつぎ桶によるトーナメントバトル

挑戦者
募集中!!

かつぎ桶バトル

第2回 2022

主催
かつぎ桶バトル実行委員会
一般財団法人浅野太鼓文化研究所

共催
太鼓泉響和館 ASNO TAIKO U.S

後援
白山市 白山市教育委員会
北國新聞 あさがおテレビ
白山市文化協会
白山国際和太鼓文化協会

協力
ローランド株式会社
金沢舞台 オトムラ
ホクスイ IMAGINE

2022年
4月24日(日)
白山市松任文化会館ピーノ
開場 13:30開演 14:00
観覧料 前売り2,000円/当日2,500円

ご応募・お問い合わせ
第2回かつぎ桶バトル事務局
(一般財団法人浅野太鼓文化研究所)
石川県白山市水島町1038-1
Tel 076-277-1721
Fax 076-277-8777
mail asano@taiko.or.jp

音とリズムとパフォーマンスの融合を目ざして 全12組、かつぎ桶によるトーナメントバトル

ストラップを使って肩から吊り下げて演奏が出来ることにより、自在なパフォーマンスを可能にする「かつぎ桶太鼓」。その未知なる可能性を探究し、「音+リズム+パフォーマンス」の融合を目ざして新たな表現を競う音楽祭です。ぜひあなたもチャレンジしてみませんか!!

第2回 かつぎ桶バトル 挑戦者募集中!!

募集要項

- 【開催日】 2022年4月24日(日) 開場13:30/開演14:00 18:00終演予定
- 【会場】 白山市松任文化会館ピーノ 〒924-0872石川県白山市古城町2 Tel.076-276-5611
- 【応募参加費】 3,000円/1名
- 【募集团体】 1組2~7名編成による団体12組
- 【審査方法】 事前審査無しのトーナメント制
音楽性、独創性、演出構成力、表現力等の視点で審査を行います
かつぎ桶太鼓の演奏を主体としながら「音+リズム+パフォーマンス」の融合を目ざした、
新たな表現を期待しています
パフォーマンスのみの場合は審査対象となりません
- 【審査員】 石淵聡(ダンサー)、西川圭子(打楽器奏者)、陽介(舞台芸術家)
- 【使用楽器】 かつぎ桶太鼓(革製)は各自持参、またはレンタル用かつぎ桶太鼓使用可
※かつぎ桶を演奏中のチャンキキ、チャッパ等鳴り物使用可(鳴り物専用の奏者は不可)
- 【演奏曲】 4分以内の自由曲(上位進出ごとに演目の変更可)
- 【応募資格】 国籍、年齢、プロアマ問わず、どなたでもご参加いただけます。(演奏者の重複応募不可)
- 【表彰】 最優秀賞(副賞として1尺5寸かつぎ桶太鼓2台、電子和太鼓TAIKO- I 1台贈呈)
優秀賞(副賞として1尺5寸かつぎ桶太鼓1台、電子和太鼓TAIKO- I 1台贈呈)
※副賞の景品内容を変更する場合がございます
- 【応募締切】 2022年3月22日(火)
- 【応募方法】 ①代表者氏名 ②参加人数 ③住所 ④メールアドレス ⑤電話番号
をご記入の上、メールにてお申し込みください。12組先着受付(出場確定後、詳細送付)
- 【ご応募・お問い合わせ】
かつぎ桶バトル事務局 一般財団法人浅野太鼓文化研究所内
〒924-0855 石川県白山市水島町1038-1 Mail asano@taiko.or.jp Tel 076-277-1721

かつぎ桶バトル審査員

石淵聡/ダンサー

1996年よりダンスカンパニー・コンドルズのダンサー、秋田県を中心にライブ活動を展開するプログレユニット・それにゆいのギター&作詞作曲担当、SFロマンファンタジーダンスグループ・チーム鴨川の創設メンバー。大東文化大学文学部准教授、お茶の水女子大学非常勤講師「舞踊音楽構成法」担当。文学博士。NHK総合「サラリーマンNEO」内「テレビサラリーマン体操」のピアノリスト。著書に『冒険する身体』(春風社)。

西川圭子/打楽器奏者

東京芸術大学卒業。1989年第1回ルクセンブルク国際打楽器コンクール第2位入賞(打楽器四重奏)。2006年9月より1年間文化庁派遣によりウィーン留学。ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団Klaus Zauner氏に師事し研鑽を積む。2009年東京交響楽団とAllan.G.Bell打楽器協奏曲を共演。打楽器四重奏団「Shun-Ka-Shu-Toh」, Percussion Unit【UNZARI】、【Percussive Movement】のメンバー。現在、東京都交響楽団打楽器奏者。

陽介/舞台芸術家

1999年 鼓童文化財団 研修所入所。
2003年より鼓童メンバーとして国内外で活躍。
「三宅」大太鼓を得意とし2012年からは演出を手がけ、太鼓や踊りの演目、唄の作詞・作曲なども行う。
2013年、2015年には坂東玉三郎氏 演出 主演『アマテラス』でスサノオ役を務め力強い大太鼓と演技力で物語を盛り上げ観客の心を惹きつけた。
『混沌』公演では梶原徹也氏 指導のもとクライマックスのドラムソロを担当。新しい魅力を開花した。
2017年9月に鼓童を退団し、今後もエネルギー溢れるパフォーマンスで魂を揺さぶる音を追求する。

出演者向け電子和太鼓ワークショップ開催予定



Facebookでチェック



@katsugiokebattle